

味わう静物画



花や果物、魚や器（うつわ）などが対象に描かれる静物画。西洋では16世紀の末頃には絵画の重要なジャンルのひとつとなりました。静物画は、風景画とは異なり画家が自分で描く対象を用意し、構成するところに大きな魅力があります。

今回はサイトウミュージアムのコレクションより、近現代の日本の画家を中心に様々な静物画をご紹介します。彼らの多くが静物画を描くにあたって、もっとも意識したのはフランスの画家ポール・セザンヌ（1839・1906）です。セザンヌはすべてのものの構造を単純なたちに還元してとらえ絵画の可能性を広げた画家ですが、同時にリンゴや布などの配置や構成に躍動感を与えました。セザンヌ以降の画家たちの多くは、そうしたセザンヌの試みを追体験しながら新たな展開を探っていきました。

まるで画面の中に本物があるかのような迫真的な表現から、香りや味覚などをも感じさせるほどに特徴をとらえたもの、さらには自己を静物に投影したもののなど、画家のねらいは多岐にわたっています。秋から冬にかけてのこの時期、味わっていただきたい作品たちがここにあります。



伊藤快彦《たけのこ》明治期 油彩・キャンバス



山下新太郎《薔薇》制作年不詳 油彩・キャンバス



石川寛治《桃果》1960（昭和35）年頃 油彩・キャンバス



高橋与里《葡萄》制作年不詳 油彩・キャンバス



井手誠一《豆腐》1976（昭和51）年 油彩・キャンバス



鍋井克之《桌上的果実》制作年不詳 油彩・キャンバス



上野山清貴《紅鯉写生》制作年不詳 油彩・キャンバス



交通のご案内 | 近鉄・JR 松阪駅南口より徒歩約8分。
お車でお越しの際は近隣の有料パーキング等をご利用ください。

三重県松阪市魚町 1807-1 〒515-0082
Tel.0598-21-1111



■会期中のイベント（入館チケットが必要です）
◎学藝員によるミュージアム・トーク
2023年11月5日（日）、
2024年1月6日（土）
いずれも午後2時から約30分
◎学藝員による絵画のお話スライド・トーク
展示室にて絵画のよもやま話を花を咲かせます。
2023年12月3日（日）⑤おいしい静物
2024年2月3日（土）⑥危なっかしい静物
いずれも午後2時から約40分、事前申し込み不要。
詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

■友の会入会のお誘い
お申し込みの日から1年間、何度でも鑑賞いただけます。小冊子は展覧会ごとに1冊進呈。お一人様年会費2千円。ご入会、ご継続時にお好きなポストカードを1枚進呈します。

■次回展覧会予告
「嵐山、そして水のある風景」
2024年3月1日（金）〜7月15日（月・祝）

サイトウミュージアム



<https://www.matsuyaka-saito-museum.com/>